

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>の受益証券 ロ、ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの受益証券 ハ、ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	①主として、マザーファンドを通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債（※1）およびオーストラリアの小型株式等（※2）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、マザーファンドを通じて、ニュージーランドの小型株式等（※2）にも投資します。 ※1 投資環境によっては、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>に投資せず、直接、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することがあります。 ※2 小型株式等とは、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。 ②設定当初の債券と株式等への投資比率はおおむね6：4とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。 ③ブラジル国債への投資にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心とします。 ④小型株式等への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ、小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。 ロ、投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。 ハ、組入候補銘柄の中から、PERやPBR等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。 ニ、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ⑤上記①～④にかかわらず、基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。以下⑥において同じ。）が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。 ⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
	組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率 無制限 ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>の株式組入上限比率 純資産総額の10%以下 ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの株式組入上限比率 無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） 《2021-01》

運用報告書（全体版） 第3期 （決算日 2017年9月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式）《2021-01》」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X200指数 (円換算)		ブラジル・リアル 為替レート		株式 組入比率	公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
1 期末 (2015年9月28日)	円 7,609	円 10	% △23.8	7,977	% △20.2	円 30.29	% △33.4	% 43.4	% 48.1	% 4.9	百万円 21,559
2 期末 (2016年9月26日)	9,256	10	21.8	7,802	△ 2.2	31.07	2.6	37.4	51.7	5.6	13,470
3 期末 (2017年9月26日)	11,600	10	25.4	9,393	20.4	35.31	13.6	34.8	55.4	5.0	7,682

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

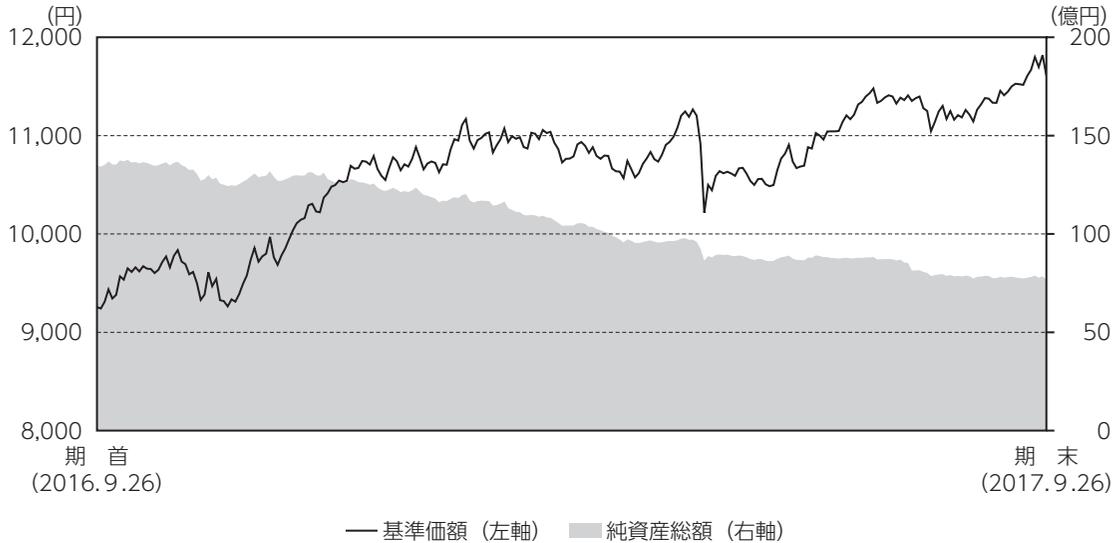
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,256円

期末：11,600円（分配金10円）

騰落率：25.4%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	35.6%
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	19.0%

■ 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、主にブラジル債券価格が上昇したことやブラジル・リアルおよびオーストラリア・ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式）<<2021-01>>

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 率 公 社 比	投 資 信 託 証 組 入 比	託 券 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期首)2016年 9月26日	円 9,256	% -	7,802	% -	円 31.07	% -	% 37.4	% 51.7	% 5.6
9 月末	9,344	1.0	7,880	1.0	31.01	△ 0.2	37.6	51.1	6.0
10 月末	9,589	3.6	7,862	0.8	32.73	5.3	36.0	53.3	6.0
11 月末	9,799	5.9	8,585	10.0	33.12	6.6	36.5	52.0	6.1
12 月末	10,540	13.9	8,988	15.2	35.72	15.0	35.6	52.8	5.1
2017年 1 月末	10,775	16.4	9,113	16.8	36.40	17.2	34.1	56.0	5.0
2 月末	10,902	17.8	9,243	18.5	36.16	16.4	32.3	56.0	4.8
3 月末	10,935	18.1	9,462	21.3	35.59	14.5	32.2	55.3	5.0
4 月末	10,735	16.0	9,215	18.1	34.92	12.4	32.6	54.5	5.2
5 月末	10,592	14.4	8,862	13.6	34.05	9.6	35.0	53.4	5.7
6 月末	11,001	18.9	9,374	20.1	33.89	9.1	37.1	51.2	5.7
7 月末	11,326	22.4	9,371	20.1	35.23	13.4	34.7	55.3	5.2
8 月末	11,317	22.3	9,269	18.8	34.94	12.5	35.0	55.6	5.5
(期末)2017年 9月26日	11,610	25.4	9,393	20.4	35.31	13.6	34.8	55.4	5.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016.9.27~2017.9.26)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は期を通じて低下（債券価格は上昇）傾向となりました。期の前半は、政府の経済対策チームが2017年に財政赤字を削減する目標を設定し、議会で承認されたことが好感されたことや、歳出の伸び率を前年インフレ率以下に定める歳出削減法案が可決されたことで、財政再建への期待が高まりました。期の後半も、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑が報道されたことで財政健全化への不透明感が高まり、一時的に金利が上昇する局面もありましたが、インフレ率が低下する中でブラジル中央銀行が継続的に利下げを行なったことから、金利は低下しました。また、中央銀行のCopom（金融政策委員会）議事要旨やインフレ報告書が利下げペースの加速を示唆する内容であったことも、金利の低下に寄与しました。

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2016年11月上旬にかけて、米国の年内利上げ観測が高まったことや中国の貿易統計が市場予想を下回ったこと、資源価格が下落したことなどがマイナス要因となり、下落しました。2016年末にかけては、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで、同氏の掲げる政策への期待などから堅調に推移しました。その後も、米国の利上げペースが緩やかになるとの見方が広まったことや中国の経済指標が好感されたことなどから、2017年4月にかけて上昇基調で推移しました。期末にかけては、トランプ大統領とロシアとの不透明な関係を巡る疑惑（ロシアゲート）の深刻化を警戒したリスク回避的な動きなどから調整した後、おおむねボックス圏での推移となりました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。OPEC（石油輸出国機構）の減産合意を受けて原油価格が上昇したことや財政改革期待が高まったことが、リアルの下支え材料になりました。その後、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進展しました。2017年になってからは、世界的に株価が堅調に推移したことや、鉄鉱石等の価格が安定していたことで投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどが、リアルの上昇に寄与しました。しかし、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道により、政治の不透明感が大きく高まったことや財政改革等が滞るとの懸念が高まったことから、一時的にリアルが下落する局面もありました。

対円から見たオーストラリア・ドルは、期首から2017年3月中旬にかけて、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けた市場のリスク選好の強まりや資源価格の上昇などを受けて堅調に推移しました。しかし5月にかけては、トランプ政権の政策実行能力が懸念されたことや北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりなどを受けて軟調に推移しました。その後は、雇用者数の伸びが市場予想を上回る内容だったことや中国の経済指標が堅調であったことなどが支援材料となり、期末にかけて上昇しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。オーストラリア株式市況については、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。マクロ経済では、中国経済に対する先行き不透明感が懸念材料ですが、低金利政策の継続、低インフレ、オーストラリア・ドル安などが支援材料です。また、新たなインフラ（社会基盤）投資が資源主導型の設備投資の縮小を補てんし、住宅価格も安定して推移するものとみています。現金創出力と健全な財務体質を備えた企業に重点を置き、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を保有し、ディフェンシブなポートフォリオを維持していく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

ポートフォリオについて

(2016.9.27~2017.9.26)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有し、債券利金についても同じ債券に再投資しました。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

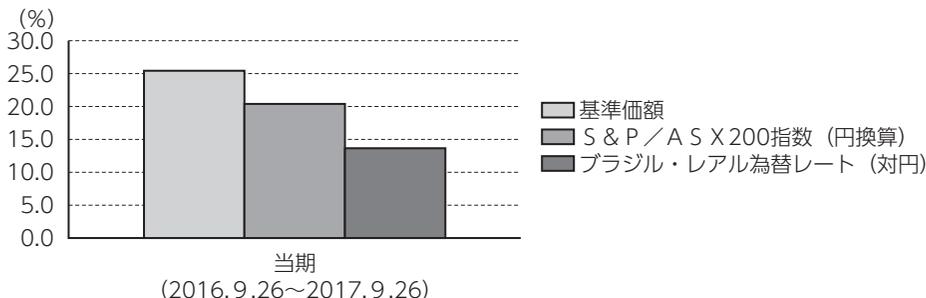
期中の投資行動としては、強固なバランスシートや保守的な経営、魅力的なバリュエーションなどの観点からオーストラリアの不動産関連銘柄を新規に組み入れた一方で、株価が上昇した自動車関連銘柄の一部売却等を行ないました。

当期は、国内固定電話および携帯通信サービス市場における高いシェアや株主還元への注力などを評価しているSPARK NEW ZEALAND LTD（電気通信サービス）、強固な流通経路や優れた知的財産などを有するARB CORP LTD（一般消費財・サービス）、ソフトウェア開発などの長期的なビジネス構造が引き続き魅力的と考えているTECHNOLOGY ONE（情報技術）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年9月27日 ～2017年9月26日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.09
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,857

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	686.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	15.25
(d) 分配準備積立金	1,165.76
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,867.26
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,857.26

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。賃金の緩慢な伸びや、ガス、電気料金などの値上げ圧力の増大などを受けた消費への影響、トランプ政権の政策の不透明感や北朝鮮情勢などの政治動向などが懸念材料ですが、大都市部における公共インフラの建設などの公共投資は支援材料となる見通しです。今後は、北朝鮮を巡る情勢やトランプ政権の政策がオーストラリアの主要貿易相手国である中国と商品市況にどのような影響を与えるかなどに注目していきます。引き続き、企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行なっていく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2016.9.27~2017.9.26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	192円	1.804%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,653円です。
（投 信 会 社）	(94)	(0.886)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(92)	(0.864)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.019	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.016)	
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	11	0.106	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(11)	(0.099)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	206	1.929	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイウ・ブラジル国債 マザーファンド《2021-01》	-	-	4,021,918	4,823,200
ダイウ・オーストラリア 小型株式マザーファンド	-	-	3,070,729	3,721,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

項 目	当 期
	ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,602,655千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,798,848千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.94

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	7,273,412	3,251,493	4,357,652	
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド	5,554,652	2,483,923	3,293,930	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	4,357,652	55.6
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド	3,293,930	42.0
コール・ローン等、その他	184,798	2.4
投資信託財産総額	7,836,381	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝88.40円、1ニュージーランド・ドル＝80.78円、1ブラジル・レアル＝35.31円です。

(注3) ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》において、当期末における外貨建純資産（6,286,930千円）の投資信託財産総額（6,364,764千円）に対する比率は、98.8%です。
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,246,328千円）の投資信託財産総額（3,324,419千円）に対する比率は、97.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,836,381,066円
コール・ローン等	113,798,267
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド 《2021-01》(評価額)	4,357,652,166
ダイウ・オーストラリア小型株式 マザーファンド(評価額)	3,293,930,633
未収入金	71,000,000
(B) 負債	154,180,247
未払収益分配金	6,622,812
未払解約金	67,359,178
未払信託報酬	79,837,482
その他未払費用	360,775
(C) 純資産総額(A - B)	7,682,200,819
元本	6,622,812,644
次期繰越損益金	1,059,388,175
(D) 受益権総口数	6,622,812,644口
1万口当り基準価額(C / D)	11,600円

* 期首における元本額は14,553,666,206円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は7,930,853,562円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,600円です。

■損益の状況

当期 自2016年9月27日 至2017年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,794円
受取利息	20,755
支払利息	△ 67,549
(B) 有価証券売買損益	1,751,915,007
売買益	2,562,342,705
売買損	△ 810,427,698
(C) 信託報酬等	△ 192,881,735
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,558,986,478
(E) 前期繰越損益金	△ 503,079,540
(F) 追加信託差損益金	10,104,049
(配当等相当額)	(3,112,131)
(売買損益相当額)	(6,991,918)
(G) 合計(D + E + F)	1,066,010,987
(H) 収益分配金	△ 6,622,812
次期繰越損益金(G + H)	1,059,388,175
追加信託差損益金	10,104,049
(配当等相当額)	(3,112,131)
(売買損益相当額)	(6,991,918)
分配準備積立金	1,219,929,178
繰越損益金	△ 170,645,052

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 36,906,625円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	454,486,335円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	10,104,049
(d) 分配準備積立金	772,065,655
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,236,656,039
(f) 分配金	6,622,812
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,230,033,227
(h) 受益権総口数	6,622,812,644口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

運用報告書 第4期（決算日 2017年9月26日）

（計算期間 2016年9月27日～2017年9月26日）

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
運用方法	①主として、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

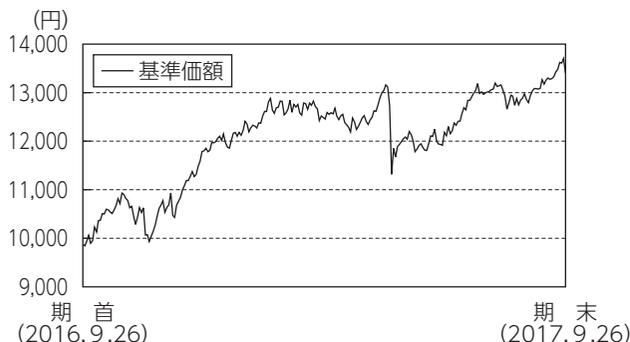
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		ブラジル・レアル為替レート (参考指数)		公 社 債 組入比率
	円	%	円	%	%
(期首)2016年 9月26日	9,882	-	31.07	-	97.0
9月末	9,897	0.2	31.01	△ 0.2	96.6
10月末	10,628	7.5	32.73	5.3	96.4
11月末	10,692	8.2	33.12	6.6	95.7
12月末	11,813	19.5	35.72	15.0	94.3
2017年 1月末	12,353	25.0	36.40	17.2	98.4
2月末	12,581	27.3	36.16	16.4	98.0
3月末	12,554	27.0	35.59	14.5	97.6
4月末	12,346	24.9	34.92	12.4	96.2
5月末	12,041	21.8	34.05	9.6	95.4
6月末	12,157	23.0	33.89	9.1	94.1
7月末	13,027	31.8	35.23	13.4	97.8
8月末	13,034	31.9	34.94	12.5	98.2
(期末)2017年 9月26日	13,402	35.6	35.31	13.6	97.6

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
 (注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,882円 期末：13,402円 騰落率：35.6%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や債券価格の値上がり、またブラジル・レアルが円に対して上昇したことから、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は期を通じて低下（債券価格は上昇）傾向となりました。

期の前半は、政府の経済対策チームが2017年に財政赤字を削減する目標を設定し、議会で承認されたことが好感されたことや、歳出の伸び率を前年インフレ率以下に定める歳出削減法案が可決されたことで、財政再建への期待が高まりました。期の後半も、インフレ率が低下する中でブラジル中央銀行が継続的に利下げを行なったことから、金利は低下しました。また中央銀行のCopom（金融政

策委員会）議事要旨やインフレ報告書が利下げペースの加速を示唆する内容であったことも、金利の低下に寄与しました。しかしテメル大統領の汚職隠ぺい疑惑が報道されたことで、財政健全化への不透明感が高まり、一時的に金利が上昇する局面もありました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

F R B（米国連邦準備制度理事会）当局者の発言等による米国の利上げ観測や、O P E C（石油輸出国機構）の減産合意に対する思惑により、レアルの対円為替相場は振られる局面もありましたが、財政改革期待が高まったことがレアルの支え材料になりました。その後、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進みました。2017年になってからは、世界的に株価が堅調に推移したことや、鉄鉱石等の価格が安定していたことで投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどが、レアルの上昇に寄与しました。しかし、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道により、政治の不透明感が大きく高まったことや財政改革等が滞るとの懸念が高まったことから、一時的にレアルが下落する局面もありました。

◆前期における「今後の運用方針」

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

◆ポートフォリオについて

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有し、債券利金についても同じ債券に再投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	16 (16)
(その他)	(0)
合 計	16

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル —	千ブラジル・レアル 164,077 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1		5,707,874

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当		期			末		
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ブラジル	千ブラジル・レアル 167,850	千ブラジル・レアル 173,770	千円 6,135,821	% 97.6	% —	% —	% 97.6	% —

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	当		期			末		償 還 年 月 日
	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F		国 債 証 券	10.0000	千ブラジル・レアル 167,850	千ブラジル・レアル 173,770	千円 6,135,821	2021/01/01

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>

■投資信託財産の構成

2017年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,135,821	96.4
コール・ローン等、その他	228,943	3.6
投資信託財産総額	6,364,764	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル=35.31円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(6,286,930千円)の投資信託財産総額(6,364,764千円)に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,368,295,794円
コール・ローン等	48,246,894
公社債(評価額)	6,135,821,154
未収入金	42,075,806
未収利息	142,151,940
(B) 負債	81,031,000
未払金	3,531,000
未払解約金	77,500,000
(C) 純資産総額(A-B)	6,287,264,794
元本	4,691,242,350
次期繰越損益金	1,596,022,444
(D) 受益権総口数	4,691,242,350口
1万口当り基準価額(C/D)	13,402円

*期首における元本額は10,279,561,070円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は5,588,318,720円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式)<<2021-01>>3,251,493,931円、ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式)<<2021-01>>1,439,748,419円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は13,402円です。

■損益の状況

当期 自2016年9月27日 至2017年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	833,900,742円
受取利息	833,934,990
支払利息	△ 34,248
(B) 有価証券売買損益	2,015,264,516
売買益	2,021,262,168
売買損	△ 5,997,652
(C) その他費用	△ 12,109,162
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,837,056,096
(E) 前期繰越損益金	△ 121,546,960
(F) 解約差損益金	△ 1,119,486,692
(G) 合計(D+E+F)	1,596,022,444
次期繰越損益金(G)	1,596,022,444

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

運用報告書 第3期（決算日 2017年9月26日）

（計算期間 2016年9月27日～2017年9月26日）

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
運用方法	<p>①主として、オーストラリアの小型株式等（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、ニュージーランドの小型株式等（※）にも投資します。</p> <p>※小型株式等とは、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 組入候補銘柄の中から、PERやPBR等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

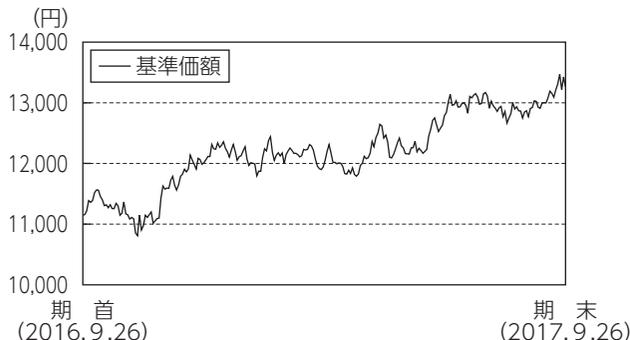
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P/A S X 200指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2016年9月26日	11,144	-	7,802	-	81.3	12.3
9月末	11,360	1.9	7,880	1.0	81.1	12.9
10月末	11,084	△ 0.5	7,862	0.8	81.8	13.7
11月末	11,590	4.0	8,585	10.0	81.1	13.5
12月末	12,113	8.7	8,988	15.2	81.2	11.7
2017年1月末	12,069	8.3	9,113	16.8	80.3	11.8
2月末	12,143	9.0	9,243	18.5	76.8	11.3
3月末	12,311	10.5	9,462	21.3	75.8	11.8
4月末	12,094	8.5	9,215	18.1	76.8	12.4
5月末	12,159	9.1	8,862	13.6	81.0	13.2
6月末	13,138	17.9	9,374	20.1	82.7	12.7
7月末	12,910	15.8	9,371	20.1	81.0	12.3
8月末	12,923	16.0	9,269	18.8	81.6	12.8
(期末)2017年9月26日	13,261	19.0	9,393	20.4	81.1	11.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,144円 期末：13,261円 騰落率：19.0%

【基準価額の主な変動要因】

当期の基準価額は、オーストラリア・ドルが対円で上昇したことが主なプラス要因となり、上昇しました。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2016年11月上旬にかけて、米国の年内利上げ観測が高まったことや中国の貿易統計が市場予想を下回ったこと、資源価格が下落したことがマイナス要因とな

り、下落しました。2016年末にかけては、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで、同氏の掲げる政策への期待などから堅調に推移しました。その後も、米国の利上げペースが緩やかになるとの見方が広まったことや中国の経済指標が好感されたことなどから、2017年4月にかけて、上昇基調で推移しました。期末にかけては、トランプ大統領とロシアとの不透明な関係を巡る疑惑 (ロシアゲート) の深刻化を警戒したリスク回避的な動きなどから調整した後、おおむねボックス圏での推移となりました。

○為替相場

対円から見たオーストラリア・ドルは、期首から2017年3月中旬にかけて、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けた市場のリスク選好の強まりや資源価格の上昇などにより堅調に推移しました。しかし5月にかけては、トランプ政権の政策実行能力が懸念されたことや北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりなどを受けて軟調に推移しました。その後は、オーストラリアの雇用者数の伸びが市場予想を上回る内容だったことや中国の経済指標が堅調であったことなどが支援材料となり、期末にかけて上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。オーストラリア株式市況については、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。マクロ経済では、中国経済に対する先行き不透明感が懸念材料ですが、低金利政策の継続、低インフレ、オーストラリア・ドル安などが支援材料です。また、新たなインフラ (社会基盤) 投資が資源主導型の設備投資の縮小を補って、住宅価格も安定して推移するものとみています。現金創出力と健全な財務体質を備えた企業に重点を置き、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を保有し、ディフェンシブなポートフォリオを維持していく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

期中の投資行動としては、強固なバランスシートや保守的な経営、魅力的なバリュエーションなどの観点からオーストラリアの不動産関連銘柄を新規に組み入れた一方で、株価が上昇した自動車関連銘柄の一部売却等を行ないました。

当期は、国内固定電話および携帯通信サービス市場における高いシェアや株主還元への注力などを評価している SPARK NEW ZEALAND LTD (電気通信サービス)、強固な流通経路や優れた知的財産などを有する ARB CORP LTD (一般消費財・サービス)、ソフトウェア開発などの長期的なビジネス構造が引き続き魅力的と考えられている TECHNOLOGY ONE (情報技術) などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の参考指数 (S & P / A S X 200指数 (円換算)) の騰落率は20.4%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は19.0%となりました。なお、当ファンドは主にオーストラリアの小型株式等を投資対象としていますが、参考指数はオーストラリアの代表的な指数として掲載しています。

《今後の運用方針》

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

賃金の緩やかな伸びや、ガス、電気料金などの値上げ圧力の増大などを受けた消費への影響、トランプ政権の政策の不透明感や北朝鮮情勢などの政治動向などが懸念材料ですが、大都市部における公共インフラの建設などの公共投資は支援材料となる見通しです。今後は、北朝鮮を巡る情勢やトランプ政権の政策がオーストラリアの主要貿易相手国である中国と商品市況にどのような影響を与えるかなどに注目していきます。引き続き、企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行なっていく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	5円 (5) (1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)
合計	12

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 8,577 (—)	千オーストラリア・ドル 4,244 (—)	百株 68,727	千オーストラリア・ドル 37,657
	ニュージーランド	百株 (—)	千ニュージーランド・ドル (—)	百株 9,406	千ニュージーランド・ドル 1,015

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 764.5 (—)	千オーストラリア・ドル 1,733 (—)	千口 2,824.6 (—)	千オーストラリア・ドル 6,836 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

■主要な売買銘柄

株 式

(2016年9月27日から2017年9月26日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
FLETCHER BUILDING LTD (ニュージーランド)	94.2	67,319	714	NIB HOLDINGS LTD (オーストラリア)	602	268,041	445
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT (ニュージーランド)	126.2	59,522	471	TECHNOLOGY ONE LTD (オーストラリア)	499.6	232,683	465
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD (オーストラリア)	130	56,960	438	INVOCARE LTD (オーストラリア)	197.4	232,217	1,176
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C (ニュージーランド)	64.1	44,920	700	AIR NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	1,137.1	222,481	195
AIR NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	237.7	31,836	133	CABCHARGE AUSTRALIA LTD (オーストラリア)	780.3	221,169	283
ISENTIA GROUP LTD (オーストラリア)	101.7	30,268	297	FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C (ニュージーランド)	274.9	220,988	803
BAPCOR LTD (オーストラリア)	62.5	27,359	437	ARB CORP LTD (オーストラリア)	154	220,301	1,430
TECHNOLOGY ONE LTD (オーストラリア)	41.3	18,840	456	SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	722.9	211,550	292
				SAI GLOBAL LTD (オーストラリア)	554.6	198,655	358
				BAPCOR LTD (オーストラリア)	380.2	181,362	477

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
ISENTIA GROUP LTD	3,135	-	-	-	情報技術
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT	1,891	2,153	1,184	104,678	情報技術
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	-	1,300	715	63,206	不動産
FLETCHER BUILDING LTD	3,007	2,350	1,717	151,857	素材
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C	3,994	1,886	2,172	192,064	ヘルスケア
SPARK NEW ZEALAND LTD	14,718	7,489	2,531	223,765	電気通信サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	2,279	670	549	48,566	一般消費サービス
SAI GLOBAL LTD	5,546	-	-	-	その他
CABCHARGE AUSTRALIA LTD	10,250	2,447	480	42,505	資本財サービス
IRESS LTD	3,054	1,546	1,819	160,856	情報技術
INVOCARE LTD	3,391	1,417	2,220	196,286	一般消費サービス
NIB HOLDINGS LTD	9,568	3,548	2,114	186,931	金融
AUB GROUP LTD	3,406	1,664	2,161	191,079	金融
AIR NEW ZEALAND LTD	11,606	2,612	783	69,270	資本財サービス
ARB CORP LTD	3,160	1,620	2,826	249,897	一般消費サービス
BAPCOR LTD	6,771	3,594	1,919	169,656	一般消費サービス
BLACKMORES LTD	46	46	528	46,722	生活必需品
BRICKWORKS LTD	1,720	854	1,181	104,407	素材
TECHNOLOGY ONE LTD	9,057	4,474	2,263	200,123	情報技術
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	6,718	3,497	2,066	182,698	資本財サービス
オーストラリア・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	103,317 19銘柄	43,167 18銘柄	29,237 2,584,577	<78.5%>

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
NZX LTD	18,559	9,153	1,089	87,986	金融
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	18,559 1銘柄	9,153 1銘柄	1,089 87,986	<2.7%>
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	121,876 20銘柄	52,320 19銘柄	- 2,672,563	<81.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	オーストラリア・ドル	千円
VIVA ENERGY REIT	322.7	773.7	1,601	141,577
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	2,320.3	705.6	1,601	141,591
BVWP TRUST	1,271	374.6	1,105	97,688
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	3,914 3銘柄	4,308 3銘柄	380,857 <11.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月26日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	2,672,563	80.4
投資信託証券	380,857	11.5
コール・ローン等、その他	270,998	8.1
投資信託財産総額	3,324,419	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=88.40円、1ニュージーランド・ドル=80.78円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,246,328千円)の投資信託財産総額(3,324,419千円)に対する比率は、97.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月26日現在

項目	当期末
(A) 資産	3,324,419,979円
コール・ローン等	171,424,835
株式(評価額)	2,672,563,770
投資信託証券(評価額)	380,857,344
未収入金	75,395,960
未収配当金	24,178,070
(B) 負債	30,500,000
未払解約金	30,500,000
(C) 純資産総額(A - B)	3,293,919,979
元本	2,483,923,259
次期繰越損益金	809,996,720
(D) 受益権総口数	2,483,923,259口
1万口当り基準価額(C / D)	13,261円

* 期首における元本額は5,554,652,723円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は3,070,729,464円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式) <2021-01> 2,483,923,259円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,261円です。

■損益の状況

当期 自2016年9月27日 至2017年9月26日

項目	当期
(A) 配当等収益	196,644,267円
受取配当金	195,896,584
受取利息	793,204
支払利息	△ 45,521
(B) 有価証券売買損益	630,832,844
売買益	1,115,766,864
売買損	△ 484,934,020
(C) その他費用	△ 2,517,877
(D) 当期損益金(A + B + C)	824,959,234
(E) 前期繰越損益金	635,408,022
(F) 解約差損益金	△ 650,370,536
(G) 合計(D + E + F)	809,996,720
次期繰越損益金(G)	809,996,720

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。